

ISO14001 内部環境監査を実施しました

9月1日（月）～3日（水）に ISO14001 内部環境監査を実施しました。

内部環境監査は、年に一度 ISO14001 に基づく環境マネジメントシステム（EMS）が正しく運用されているかという視点に加え、有効に機能しているかを確認するために行います。

監査は部局の環境推進リーダーが中心となって行いますが、連携開設科目の環境講義「マネジメント論」を履修している岐阜大学生・名古屋大学生、本学有志の学生も参加しています。学生監査員は事前に外部講師及び本学の教員より研修を受け、ISO14001 の規格及び監査における着眼点や不適合事項の特定など監査の手法について学び、監査チームごとにチェックリストを作成して監査に臨みます。

今年度は 21 名の学生が職員とともに監査に参加しました。学生からは「紙面で行っていた業務のデジタル化が進んでいるように感じた」「気候変動への対応に関して、環境報告書への情報掲載、カーボンニュートラルに向けた大規模改修工事の実施、エネルギー消費量削減の取組などを実施していた」など良いところを含め、多くの意見が寄せられました。全体として不適合事項はありませんでしたが、改善の機会となる意見が 8 件あったため、対応していきます。

監査に参加した学生からは「岐阜大学の環境への取組について詳しく知ることができて良かった」「大学の内部を知る機会はほとんどないので、どう運営されているのか学ぶことができた」などの感想が寄せられました。

【内部環境監査の様子】

